

授業科目名	音楽学演習	担当形態	演習		
		開講学期	秋学期		
担当教員	アルバレス・ホセ・サンティアゴ	単位	1	年次	3

＝授業のテーマ及び到達目標＝

主に、音楽学分野の卒業研究に当たり、『音楽学の方法』等で学んだ事項を活かし、テーマの設定、研究方法の選択、先行研究の検索、研究手順の決定、論文作成の技量を身に着けることを目標とする。卒業研究のテーマ絞り込みの為のプレゼミと位置付けられるものである。

＝履修の条件と学習の方法＝

卒業研究(論文)のテーマの絞り込みを最低限の目標とし、さらにそのテーマに則した先行研究や資料に関する学びに到達することをねらいとする。その為の心構えを持つことが、履修の条件である。

演習科目であるので、各自の学習内容に関する発表や討論を求めることがある。また、受講者少数の場合は、個別演習の形をとることもある。

大学生らしく、自ら学ぶ意志を十分に示す者の受講を求める。

＝授業の概要＝

テーマの設定、研究方法の選択、先行研究の検索、研究手順の決定、等々を歌い手気に取り上げ、説明の講義の後、受講生各人がプレゼンテーションを行なう形でクラスをすすめる。ただし、受講生の数により、レポートをもって、プレゼンテーションに帰ることがある。

＝授業計画＝

以下の授業内容は、受講者が多く、一斉授業をした場合の例です。

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 受講者が関心を寄せる暫定的な研究課題の確認(1)
- 3回 受講者が関心を寄せる暫定的な研究課題の確認(2)
- 4回 暫定的な研究課題から研究対象の絞り込みの可能性を探る(1)
- 5回 暫定的な研究課題から研究対象の絞り込みの可能性を探る(2)
- 6回 研究対象の絞り込みの結果報告と討論(1)
- 7回 研究対象の絞り込みの結果報告と討論(2)
- 8回 研究対象に関わる先行研究や資料の紹介(1)
- 9回 研究対象に関わる先行研究や資料の紹介(2)
- 10回 先行研究から学んだことと、自らの研究目標との関連について考察する(1)
- 11回 先行研究から学んだことと、自らの研究目標との関連について考察する(2)
- 12回 現時点で行うべき、資料研究やフィールドワークの設定について(1)
- 13回 現時点で行うべき、資料研究やフィールドワークの設定について(2)
- 14回 研究計画書の作成
- 15回 研究計画書の内容の確認

＝テキスト（必携）＝

特になし

＝参考書・参考資料（必携）＝

必要に応じて指示する。

=成績評価の方法と評価の基準=

出席状況、発表・レポートの内容を、総合的に評価する。具体的には、テーマの設定と研究方法、着眼点、研究計画等の妥当性、計画性、実現可能を勘案して評価を行なう。

=その他=